環境月間講演会

「地球温暖化の影響で変わりゆく環境と私たちのくらし」

2014 年 6月4日

「省エネナビモニター事業」について 概容と報告 （平成23～25年度）

省エネナビ事業の概要　(平成23～25年度)

(1) 機器

消費電力量を“見える化”

・分電盤に設置すると、全体の消費電力量、CO_2排出量、時系列や月グラフ等を表示する。

(2) 実態の把握

家庭の電力使用調査、確認

・電力の契約、世帯人数、間取り、使用家電の調査（家電カルテ）、使用方法のヒアリング等を行い、各戸のエネルギー使用状況を把握する。

おもな調査項目

◎属性

①　電灯契約種別と契約容量　（従量電灯B　40A）
②　起床と就寝時刻　（7時起床　23時就寝）
③　ご家族の人数　（大人2人小学1人中学1人）
④　世帯の住居状況　（集合住宅　4階）
⑤　前年月別の電力使用量　（7月180kWh　８月260kWh …）

季節で変動する使用量を把握

◎家電カルテ

①家電の種類　（液晶テレビ）　②製造年　（2011年製）
③容量・能力等（37v型）　④メーカー　⑤型番・型式
⑥使用状況　（平日：朝2時間、夕方から4時間視聴）
⑦定格消費電力　（150W）

取扱説明書の仕様欄や、製品背面記載等で使用電力の目安を把握

◎照明リスト

①場所　（リビング　２灯）
②種類　（丸型蛍光灯　40W+32W　ペンダント白熱電球　60W）

◎ヒアリング

機器の使用時間・方法、家庭の節電リーダー、節電意識有無　等

事業の概要　(平成23～25年)

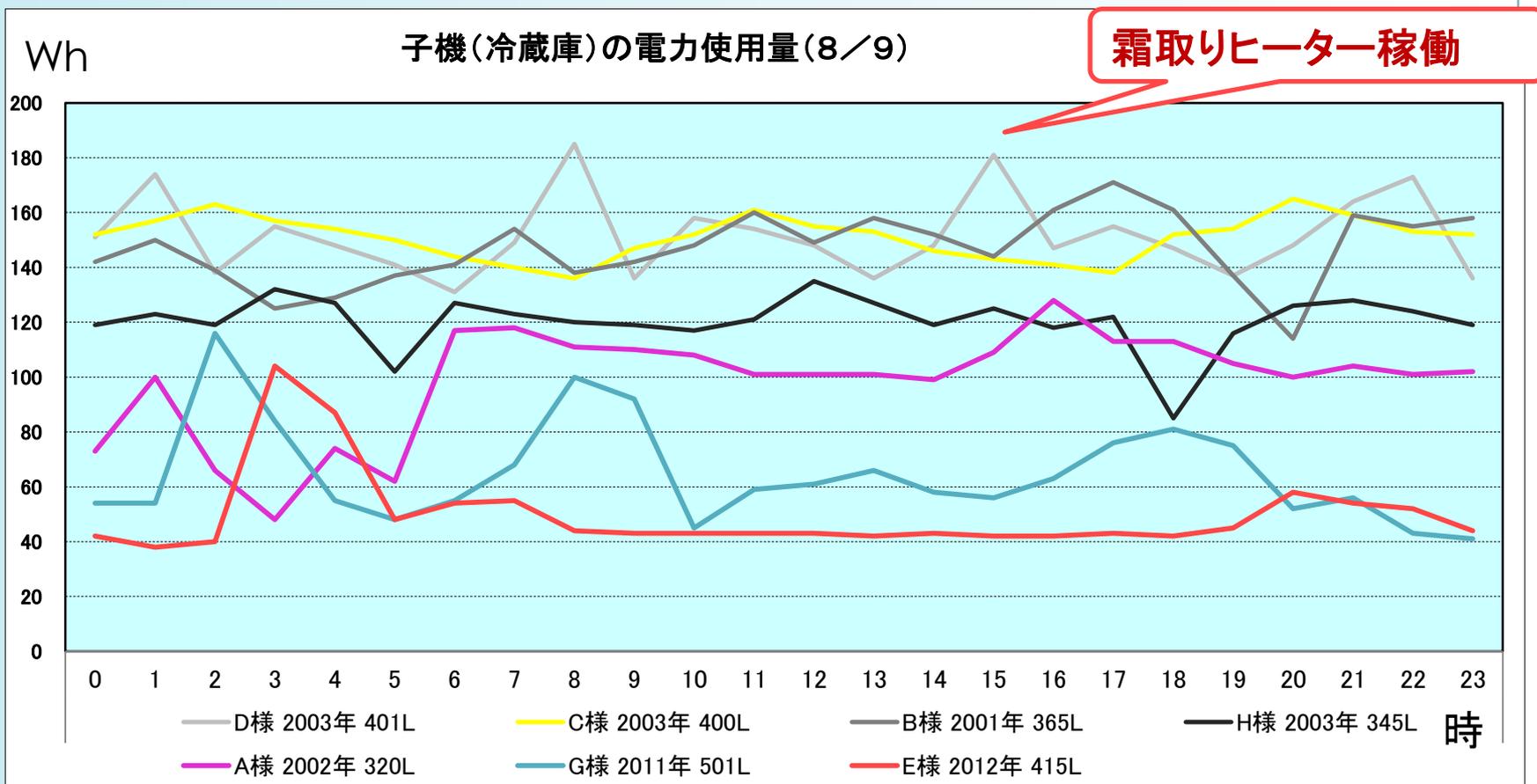
（3）省エネナビ担当委員（ねり☆エコ会員）

エネルギー事業者、環境カウンセラーや省エネ実践者等がそれぞれの立場から分析・診断・相談を行う。

回収データを「日・時刻別グラフ」に起こし、曜日、時間毎の戸別の使用傾向を確認。「いつ、どの機器をどのように使っているか？」等を分析。

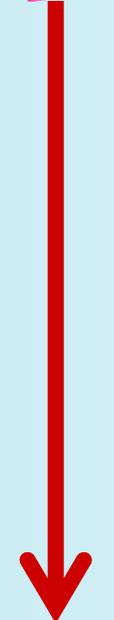
実際の使用実態の確認を行った上で、省エネにつながるご提案を行う。

ナビデータから"見えた"こと　～ 2013.8.9

(1)冷蔵庫の消費電力量　(時刻別推移)

ナビデータから“見えた”こと ～ 2013.8.9

(2)1日の合計消費電力量

2010年以降の製品は
大型化していても電力量は
低く、省エネが進んでいる

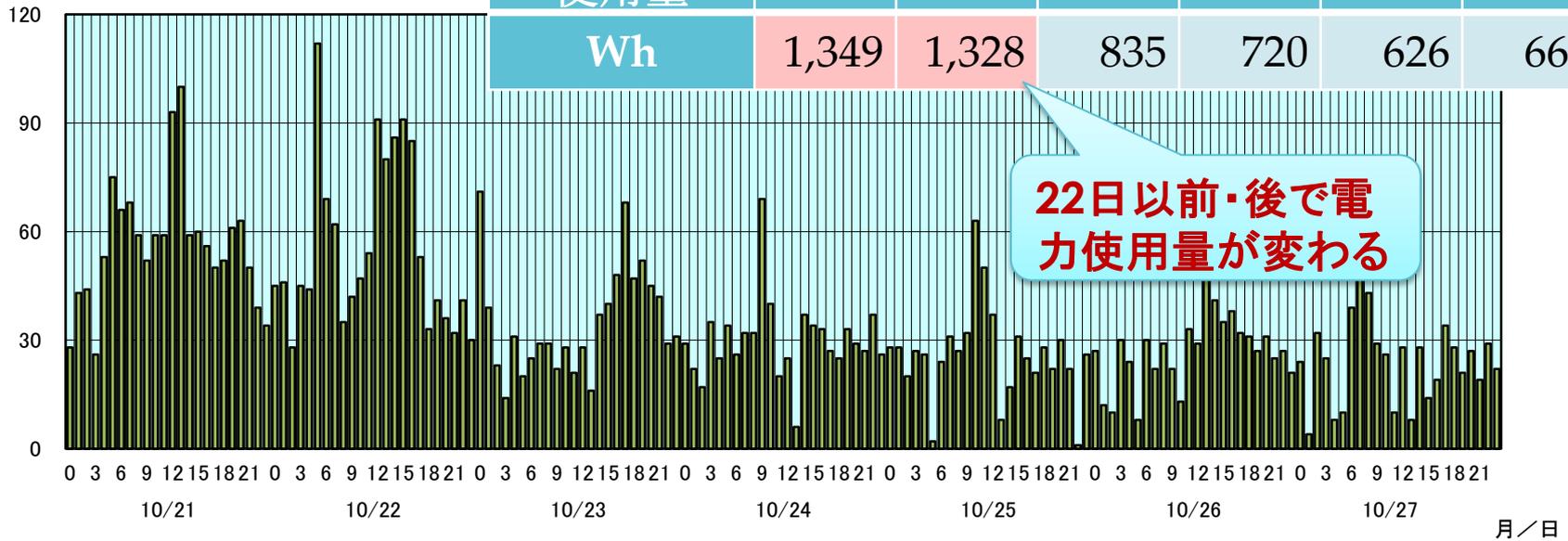
少 → 多

単位(Wh)

NO	モニター様	製造年	容量	電力量	MAX
1	E様	2012年	415L	1,191	104
2	G様	2011年	501L	1,558	116
3	A様	2002年	320L	2,364	128
4	H様	2003年	345L	2,893	135
5	B様	2001年	365L	3,524	171
6	C様	2003年	400L	3,624	165
7	D様	2003年	401L	3,640	185

ナビデータから“見えた”こと 2013.10.22【買替】

(3)冷蔵庫の買い替え効果

2002年製(320L)→2013年製(481L)

1日の合計使用量	21日	22日	23日	24日	25日	26日
Wh	1,349	1,328	835	720	626	667

省エネナビモニター事業の効果　～1

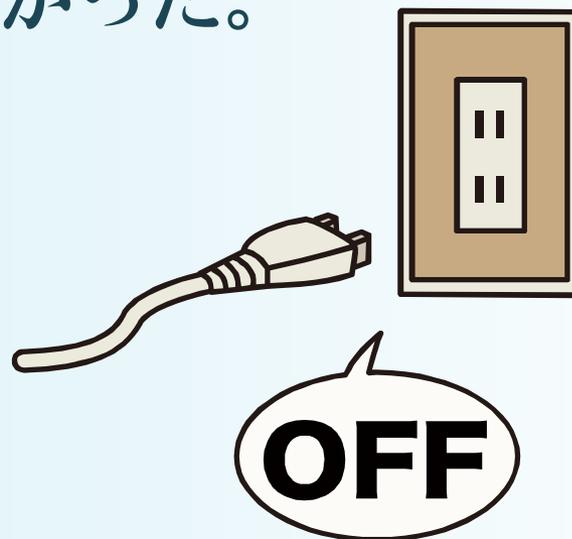
(1)　“家電の”　“家庭の”消費電力量を知る

（モニター意見から）

- 電気の使用量は刻々と変化することがわかった。
- 掃除機の消費電力が高い、テレビは思っていたほど高くない、電子ピアノは低いなど個々の家電について良く分かった。
- ヒーターを付けっ放しにした時は、数値が桁違いに高かったのに気が付いた。

省エネナビモニター事業の効果　～2

(2) 家族で省エネを話し合い、実践する

- 主人が付けっぱなしの家電やパソコンを消して回るようになった。
- 以前はホットカーペットの切り忘れがあったが今年はほとんど忘れなかった。

省エネナビモニター事業でわかったこと

- 見えない電気を「見える化」

↓

- 家族で考える、協力し合う
- 第三者から助言を受ける

↓

- 我流から効率的な節電行動を行う

↓

- 節電行動の効果を実感する

→　「継続」への動機になる